

地域医療を未来へつなぐために Vol.3

～但馬の医療を守り続けるため、いま知ってほしいこと～

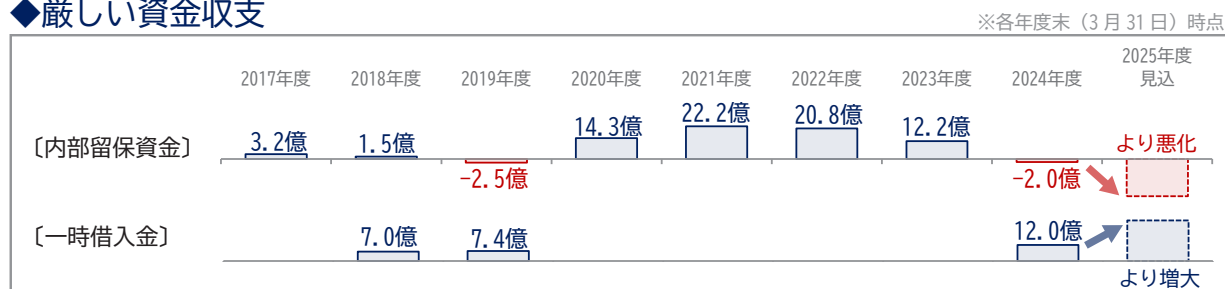
前回、前々回と病院経営を取り巻く環境が大変厳しい状況にあることをお伝えしてきました。

今回は、厳しい経営(資金)状況を踏まえた抜本的な対応と引き続き地域の安心・安全を守り続けるための対応についてご紹介します。

1. 抜本的な構造改革

『持続可能な病院経営』への立て直しに向けて検討する組織（＝構造改革委員会）を設置し、抜本的な構造改革を進めていきます。

◆ 厳しい資金収支



急激な物価高騰に伴う経営悪化により、内部留保資金（≒運転資金）が急減し、運転資金の不足を銀行からの一時借入金で賄って運営している状況です

◆ 経営の安定化に向けた方策

① 短期的方策

☆ 自助努力による経営改善

・費用削減の徹底 ・緊急性を踏まえた予算執行 など

☆ 適切な収入徴収による経営改善

・自主料金の見直し（駐車料金、文書料など） ・構成市からの繰入金の見直しの要請 など

☆ 改善方策取組み期間中の資金確保

・構成市との協議を進めるとともに、国及び県からの支援の要請

② 抜本の方策

☆ 将来にわたる地域の医療ニーズを的確に把握し、地域の医療機関との連携を推進しながら『必要な医療』『求められる医療』を提供し続けられるよう、構造改革委員会での議論を踏まえ、現行の医療体制の規模・機能の見直しを含めた**抜本的な構造改革**に取り組みます。



2.地域の安心・安全を守り続けるために

厳しい経営状況下にあっても、救命救急機能や急性期経過後の長期の療養環境の充実など、地域の医療ニーズに対応した整備を進め、引き続き地域に『安心・安全』を届けてまいります。

〔豊岡病院〕

圏域に不足する高度急性期病床(集中治療系病床)を増床するなど、重症患者・救急患者の療養環境を R09(2027)年度中を目途に整えます。

〔朝来医療センター〕

圏域に不足する在宅復帰に向けた機能回復に重点を置いた回復期リハビリテーション病床への転換を目指し準備を進めます。

◆東新棟(仮称)整備に伴う機能強化

☆不足する高度急性期病床の拡充

↳ 集中治療系病床 ... 実質 8 床増床

☆パンデミック時の対応強化

↳ 感染症専用診察室の整備と ICU 個室化

☆高度先進医療の機能拡充

↳ 救急エリアの拡張

ハイブリッド ER・ハイブリッド手術室の新設

豊岡病院



救命救急イメージ



ICU イメージ



◆回復期機能の充実

『回復期リハビリテーション病床』の特色

☆長期の入院が可能に

対象疾患ごとに入院期間が定められています。

〔例〕脳血管疾患などは、**150 日**まで

大腿骨などの骨折は、**90 日**まで

※療養が必要と認められた場合の最大入院期間

☆機能回復に重点をおいた入院療養

患者さんの状態に合わせたリハビリ治療の一層の充実に向け、取り組みを進めます

朝来医療センター



公立豊岡病院組合は、途切れることなく将来にわたり、適切な医療提供を通して、地域の安心・安全を支え続けてまいります。